

令和6年度職員採用選考試験（第2回）

獣医師 専門記述試験（6.10.20）

＝ 課 題 ＝

○ 家畜衛生について

次の設問にすべて答えなさい。

1 口蹄疫について

口蹄疫は越境性動物疾病の一つで、2000年に宮崎県及び北海道において、国内では92年ぶりに発生し、その後、2010年には再び宮崎県内において大流行した。（297件）

現在の日本（2024年）では、鳥インフルエンザや豚熱が毎年発生しているが、口蹄疫は、2011年に清浄国に復帰以降、国内発生はなく、危機意識が低下しているという指摘もある中、韓国（非清浄国）は、現在もワクチンを使用した口蹄疫対策を継続している。このような状況を踏まえ、次の設問にそれぞれ答えなさい。

（1）口蹄疫について症状、病変、伝播特性、感染動物など、知るところをできるだけ多く記述し、2010年の宮崎県内でのまん延の要因について意見を述べなさい。

（2）口蹄疫ウイルスの国内及び農場への侵入防止対策について、それぞれ、できるだけ多く記述しなさい。

（3）日本では韓国のようにワクチンを使用した口蹄疫対策を行っていません。その理由について、ワクチンを使用することのメリット及びデメリットにより説明しなさい。

2 病原微生物について

口蹄疫はウイルスによる疾病だが、疾病原因となる病原微生物は大きさによって、ウイルス、細菌、真菌、原虫の4つに分類される。次の設問にそれぞれ答えなさい。

（1）4つの病原微生物から、一つを選び、その特徴について知るところを記述しなさい。（選択した病原微生物を記載の上、回答すること）

（2）日和見（ひよりみ）感染について説明しなさい。

（キーワード：抗生物質、免疫力、一般微生物 など）